

## 前 書 き

文化庁では、今後の国語施策の改善に資するために、明治以降、今日に至るまでに発表された国語施策の改善に関する各種の案及び実施された施策並びにそれらに関する論評等を計画的に収集整理し、「国語施策沿革資料」として、まとめることにしている。

本集は、その第十二集として、国語審議会等から発表された漢字の字体に関する諸案及び研究資料等を収録し、簡単な解説を加えたものである。

平成九年一月

文化庁文化部国語課長

大 島 有 史

## 凡 例

一 本資料集は、国語施策沿革資料の第十一集に続き、国語審議会等から発表された漢字の字体に関する諸案三種と諸案にかかわる研究資料等三種を収録したものである。

二 各文献は、原本を影印したものである。本資料集の性格上、原本を拡大して見やすくする方針を採ったが、原本の判型などは解説に記した。

三 参考のために、各資料の前に簡単な解説を添えた。解説では、その資料の成立の経過、内容、特色等について簡略に述べた。

四 本資料集の編集・作成には、氏原基余司（国語調査官）が当たった。